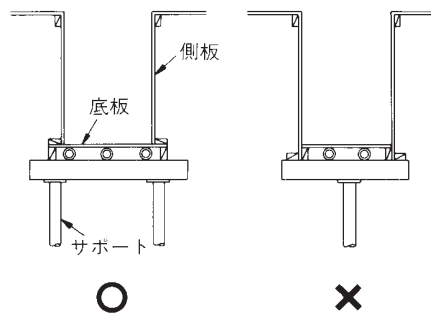


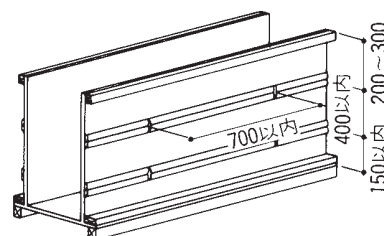
KK ビーム施工方法

1. 梁型枠の作り方

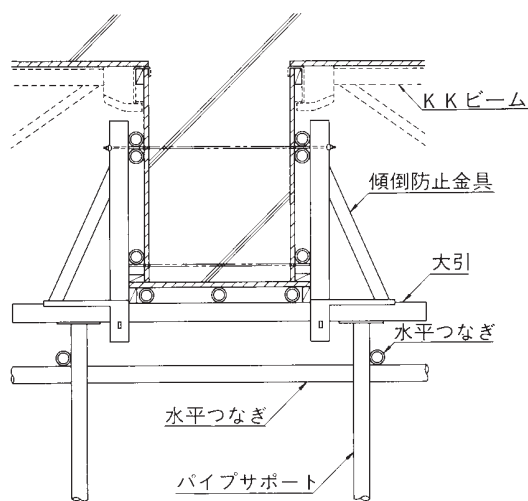
- ① 梁型わくは、図-1のように、側板を必ず底板の上に乗せて組立ててください。尚、梁側板最上段のサン木は、タテ向きに取付けて下さい。
- ② ビームを架ける梁型わくは、それぞれの側板でスラブ重量を支えることになりますのでいたんだコンパネや劣化したコンパネの使用は、避けて下さい。
- ③ セパレーターは、梁型わく側板の座屈を防止するため図-2のように垂直方向400mm水平方向700mm以内の間隔に取付けて下さい。但し、上から一段目のセパレーターは200~300mm、下段のセパレーターは、梁底から150mm以内の位置に取付けて下さい。
- ④ ビームを架ける梁型わく側板は、上載荷重による傾き変位を防止するための最低2ヶ所及び3メートル以内の間隔で傾倒防止を設けて下さい。(図-3)
- ⑤ ビームを架ける梁型枠として使用する場合の梁型枠側板の高さは75cmを最大とし、高さが75cmを超える場合は、縦桟を入れ補強して下さい。(図-4)



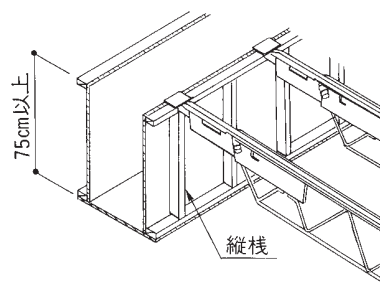
(図-1)



(図-2)



(図-3)



(図-4)

2. 梁型枠下の支保工について

- ① サポート使用の場合サポートは、受金具の下に立てなくても良いのですが必ずダブルに立てて下さい。(図-1)
- ② 梁下の支保工は、梁型わくなどの倒壊防止の為、必ず根がらみ、水平つなぎ、筋かいを取付けて下さい。(図-3)

● 取付方法

根がらみは、F・Lから200~300mmの高さ以内に必ず1段取付け、2000mm以内に水平つなぎを取付けて下さい。このときサポートと単管パイプの緊結には、『根がらみクランプ』を使用して下さい。尚、詳しくは、労働安全衛生規則『第242条(型わく支保工についての措置等)及び第243条』をご覧ください。



KK ビーム施工方法

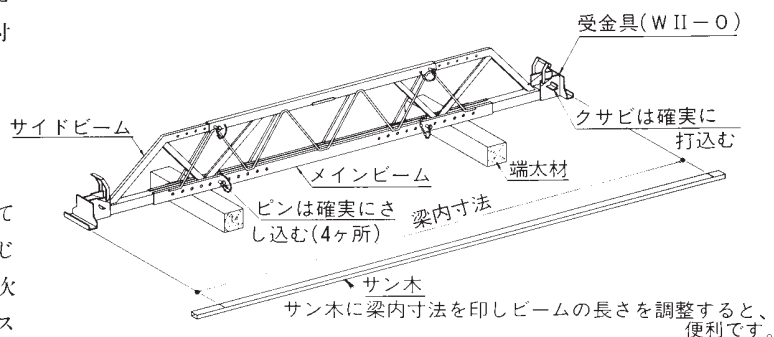
3. KK ビームのセットについて

- ①梁伏図(駆体図)をもとにKKビームの架ける方向や配置するピッチを決めて下さい。割付図にもとずき梁型わくのサン木上に、ビームの取付位置を印して下さい。

4. KK ビームのスパン調整について

- ①梁内寸法に合わせて、ビームの長さを調整して下さい。この場合両端のサイドビームは、同じ長さに伸縮させてピンをセットして下さい。次に受金具をビーム両端に取付けます。続いてスパンに合わせた定規を使い受金具の位置を決めてクサビを打込んで下さい。このようにすると梁の通りもよくなります。(図-5) 尚、ビーム落下防止のため打込んだクサビの先端の穴に割りピン・釘等を差し込んで下さい。また、ビームを架けた後、受金具のあごひもは、梁側板に釘打ち固定して下さい。

(注) ビームの長さの微調整は、受金具で0～50mmまで調整出来ます。



(図-5)

5. KK ビーム・サポートの割付例

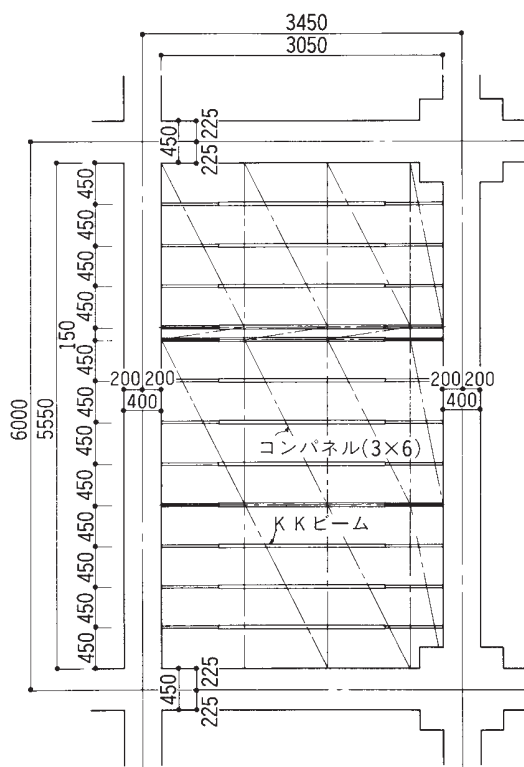
① KK ビームの割付

スパン内にビームの配置方向を決めます。次にビームのピッチをビームピッチ表にて求めます。ピッチ表よりビームの架設ピッチは、450mmとなります。

スパン内の使用本数 $5550\text{mm} \div 450\text{mm} = 12.3\text{本} \div 12\text{本}$ (割り切れず小数点が出た場合切り捨てます。)これをスパン内に割付けると図6のようになります。このとき両側の梁からコンパネの継手位置を考慮し割付けて下さい。

② 梁下のサポートの割付

ビームを架けた梁下のサポートは、スラブ重量と梁の重量を支えるので、サポートのピッチを求めるにはスラブ重量と梁の重量を加え、それをサポートの耐力で割った値がサポートの使用本数です。



設定条件
 スラブ厚 120mm
 はり芯寸法 6000mm×3450mm
 はりせい 800mm
 まり幅 400mm
 階高 4100mm

(図-6)



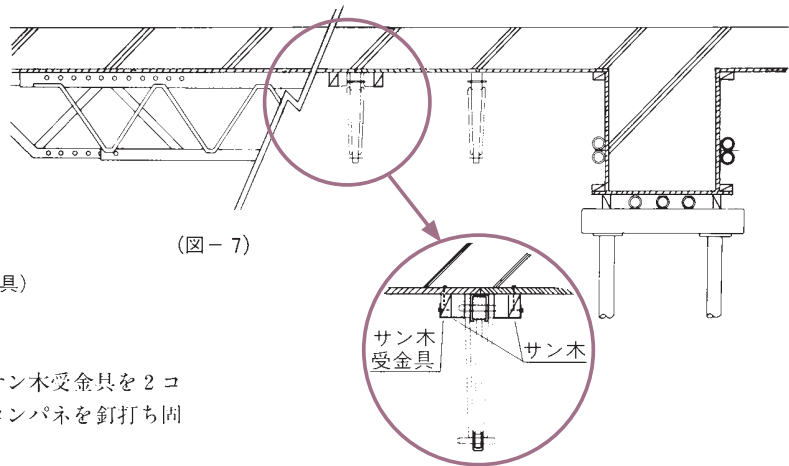
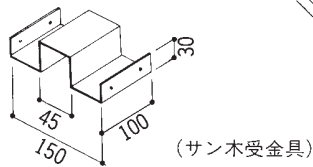
KKビーム施工方法

KK ビーム施工方法

6. コンパネ継手の固定方法

①WII-O型(ビーム受金具)を使用の場合、コンパネ継手(ビームと平行方向のみ)部の固定のためにサン木受金具を使用します。(ビーム1本につき2個使用)

※サン木受金具使用図
サン木受金具でサン木を受止め、ペニアを釘打ち固定します。



(図-7)

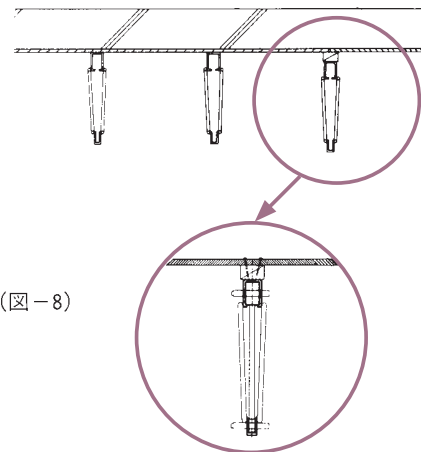
●取付方法

コンパネの継手位置が来るビームにサン木受金具を2コ取付けサン木をのせ、そのサン木にコンパネを釘打ち固定します。(図-7)

②WII-30型(ビーム受金具)を使用の場合

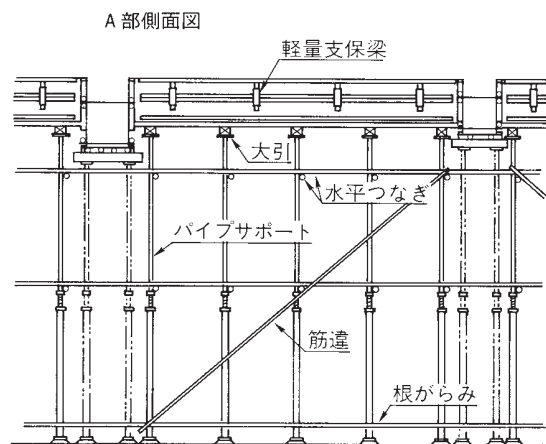
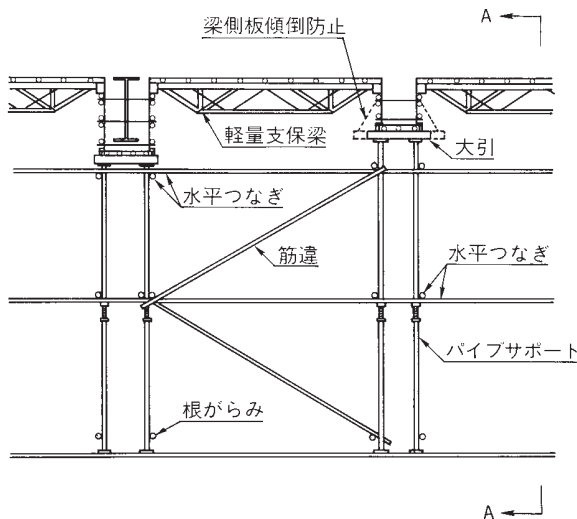
●取付方法

コンパネの継手位置が来るビームにサン木(30×50又は30×60)を番線等で固定しコンパネを釘打ち固定します。(図-8)



(図-8)

梁下支保工・パイプサポート使用例



A ←